

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス う・さ・ぎLABO (児童発達支援)					公表日	2025年12月15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	国の基準に基づいて確保しています。	今後も活動や状況に応じて環境を整え、過ごしやすい空間作りを目指します。			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	全員が資格を持ち、基準に基づいて人員配置をしています。	活動に応じて、必要な人数配置を行っていきます。			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	活動スペースはバリアフリーとなっており、階段にも手すりを設置して、安全面にも考慮しています。	階段の昇降の際には手すりを持つように視覚支援を用いて伝え、必ず職員が付き添い安全面には十分に配慮していきます。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日清掃、消毒を行っています。室内の環境を整え、活動に最適な空間作りを心がけています。	今後も継続して、清掃や消毒をこまめに実施し、過ごしやすい環境を整えていきます。			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	80%	20%	常時設置はしていませんが、小スペースを作り対応しています。				
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	全職員に業務日誌などで情報共有しています。サービス提供前後は、課題と反省を話し合う場を持つようにしています。	今後も職員間で連携を深め、より良い業務を行っていきます。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	月に1回、全職員で会議を行い、保護者の方からの意向に基づき、改善方法を検討し、実施しています。	今後も保護者の方からの意向を受け入れ、業務改善を積極的にしていきます。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日頃から子どもの状況については話し合いを設けています。また、ミーティングの際にどのような療育をすべきかを話し合い、業務改善へとつなげています。	今後もミーティング等で話し合う場を設けより良い業務ができるようにしていきます。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%	第三者の外部評価は実施していません。				

	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月出来る限り、研修を行っています。また、県からの研修内容を回覧にして周知し、希望があれば参加しています。	職員が様々な研修に参加し、スキルアップにつなげると共に知識や内容を職員間で共有しています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	5領域に沿って支援内容を作成し、ホームページに公表しています。	今後も国が示した支援内容に沿ったプログラムを作成していきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	保護者とのモニタリングを行った上で支援計画を見直し、その内容を基に個別支援計画を作成しています。	今後も継続してアセスメントを行い、保護者の方と今後の課題や支援内容を検討し、作成していきます。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	こどもの状況を全職員が紙面におこし、それを参考に作成しています。	全職員で話し合い、特性を含めた上でより良い支援できるよう検討していきます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援計画の内容については支援方法を職員で話し合って実施するようにしています。	支援内容についてミーティング等を行い、職員間で共有し、支援計画に基づいて支援をおこなっています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個々の特性や興味、支援内容を業務後のミーティングや業務日誌を通じて職員間で共通認識をしています。	個々に対してアセスメントを適切に行い、細やかな支援ができるよう確認していきます。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	令和6年の指導改定より、5領域に基づき個々の支援すべき優先順位項目を設定し、支援を行っています。	今後もガイドラインに沿った個々の特性を含めた支援内容を具体的に設定していきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	ミーティングで次月の活動内容等について話し合い、活動内容の工夫に努めています。	担当職員が中心となり、より良い活動プログラムになるよう検討していきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	職員間で意見を出し合い、行事などを折り込みながら、季節感を取り入れて活動プログラムを検討しています。	こども達が楽しく活動に取り組めるような内容のプログラムを企画していきます。

関 係 機 関 や 保	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	子どもの状況を把握し、児童発達支援計画に基づいて支援を行っています。	今後もビジョントレーニングを中心に個別、集団活動のプログラムを作成していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	職員が話し合いながら、どのように進めいくか連携を図り、支援を行っています。	今後もチームで連携を図りながら支援を行っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	気付いた点は支援終了後に話し合って改善に向けて情報共有を行っています。	今後も継続して情報共有を行っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の様子は連絡帳を複写で保管し、業務日誌に個別の支援実施時の配慮点がわかるように書き残しています。	今後も継続して支援の検証・改善を行っていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に一回モニタリングを行い、評価と支援計画の見直しを行い、個別支援計画を作成しています。	今後も継続して定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っていきます。
	24	障がい児童相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	担当者会議や関係機関会議には必ず担当者が出席しています。	今後も継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	関係機関といつでも支援を行う体制はとっている。	今後も継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	相談員からの要望で機会があれば、相互理解を深めるための体制を整えています。	今後も継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	保護者や相談員からの情報共有が主になっています。小学校からの要望があれば、いつでも支援を行う体制はとっています。	今後も継続していきます。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	60%	40%	設けてはいないが、要望があれば受け入れていきます。	今後も継続して行っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	保育園やこども園との交流はないが、近くの公園で遊ぶ際に地域の子どもと遊ぶことがあります。	今後も継続して行っています。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や連絡帳で保護者と連携をとっています。	今後も継続して行っています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%	以前はペアレントトレーニングに取り組みましたが、今年は未定で情報提供はしていく予定です。	保護者の方から要望があれば検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約の際に行っています。変更した場合は書面やLINEでお知らせしています。	今後も継続して行っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリングの際に必ず確認しています。	今後も継続して行っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	モニタリングの際に必ず確認し、同意を得ています。	今後も継続して行っています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者の方からの希望で要望があれば会って話をしたり、電話で話をしています。	今後も継続して行っています。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	ペアレントトレーニングを行ったことがあります、個人情報の観点から望まない保護者もいるので、難しい事案であると考えています。	今後必要があれば検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	相談や苦情に対しては丁寧に説明、謝罪を行い、記録を残しています。	今後必要があれば検討していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	年2回の広報誌の提供と毎週末にLINEで活動報告をしています。	今後も発信を続けていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の取り扱いについては他者の目に触れることがないように職員間でも徹底し、十分に留意をしています。	今後も十分に気を付けて、管理していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	こどもや保護者に応じて円滑に意思疎通できるように、職員間で話し合いを行い共有しています。	今後も継続して行っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	加古川市全体でボランティアの方や老人大学の方等を招いて、行事を行っています。	今後も地域の方との交流の場を多く持てるよう機会を設定していきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各マニュアルを作成し、全職員が周知しています。保護者の方へは契約の際に丁寧に説明を行っています。	今後も継続して周知に徹底していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	地震、火災等を想定し、避難訓練を定期的に行っています。こども達と一緒に避難場所へのルート等の確認も行っています。	今後も定期的に避難訓練を実施していきます。備蓄品も常備して対応していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	保護者の方から電話やLINE、連絡帳などで確認しています。	今後も継続して行っています。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	契約時、保護者の方に聞き取りを行っています。アレルギーがある場合、職員には周知しています。	今後も継続して行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	職員間での会議の際に研修を行い、周知徹底をしています。	現状を維持すると共に、その都度体制を整えています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	各種マニュアルは策定しており、契約時の重要事項説明書読み合わせの際に説明させて頂いています。	今後も継続して行っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	該当事例の報告があれば、ヒヤリハットを作成しています。職員会議で共有し、今後の対策に繋げています。	今後も継続して行っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	外部研修の参加と、内部研修を定期的に行っています。	今後も継続して行っています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	職員間で研修を行い情報共有した上で、契約時やその都度保護者の方へ説明しご理解いただいています。	今後も継続して行っています。